

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成20年>>

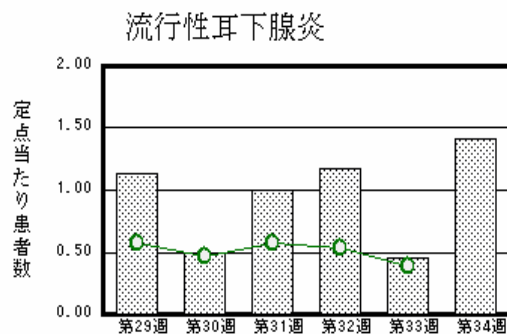
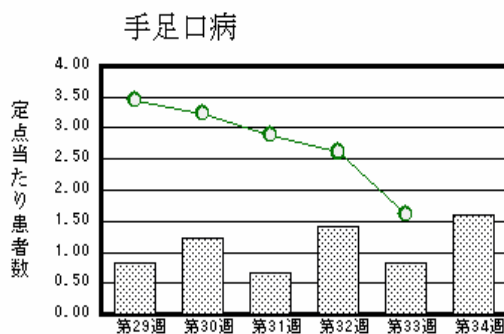
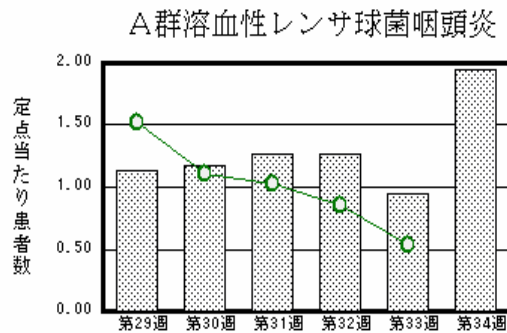
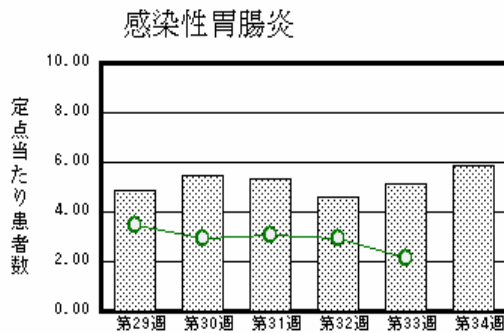
<週報> 第34週 (平成20年 8月18日 ~ 8月24日)

発行日: 平成20年8月27日

発行: 福井県健康福祉部健康増進課
福井県衛生環境研究センター
kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎129名(5.86名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎43名(1.95名) 手足口病35名(1.59名) 流行性耳下腺炎31名(1.41名) ヘルパンギーナ27名(1.23名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(129名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(43名) 手足口病(35名) 流行性耳下腺炎(31名) ヘルパンギーナ(27名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は129名です。定点当たり報告数は増加しました(5.14名 5.86名)。地域別にみると、丹南地区10.60名、坂井地区6.33名、福井地区6.14名、奥越地区3.00名、二州地区2.67名の順となっています。
4. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は43名です。定点当たり報告数は増加しました(0.95名 1.95名)。地域別にみると、坂井地区4.67名、奥越地区4.50名、二州地区2.00名、丹南地区1.60名、福井地区0.86名の順となっています。
5. 【手足口病】報告数は35名です。定点当たり報告数は増加しました(0.82名 1.59名)。地域別にみると、奥越地区3.50名、坂井地区2.33名、丹南地区2.00名、福井地区1.43名、若狭地区0.50名の順となっています。
6. 【流行性耳下腺炎】報告数は31名です。定点当たり報告数は増加しました(0.45名 1.41名)。地域別にみると、二州地区3.33名、福井地区2.86名、丹南地区0.20名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2008年第32週号(8月4日~8月10日)要点

発生動向総覧	<第32週> 手足口病の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い/ その他最新動向
注目すべき感染症	<腸管出血性大腸菌感染症> 第32週の報告数は235例であり、累積報告数は2,064例であった
病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2008年/ ヘルパンギーナ患者から検出されているコクサッキーウイルス2008年/ アデノウイルス2型2008年
速報	昨秋以降におけるエンテロウイルス検出状況 - 島根県
海外感染症情報	<今週は該当記事はありません>
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:結核1名の報告がありました。
(なお、第32週に結核3名の報告がありました)
- 3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症2名の報告がありました。(下表参照)
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:梅毒1名の報告がありました。

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)	
患者	女性 1名	男児 1名
主な症状	腹痛、下痢、血便	腹痛、下痢、発熱
感染原因・感染経路	調査中	調査中
平成20年	福井県	有症者27名、無症者17名
	全国	1,784名(8月3日現在)
平成19年同時期届出累計	有症者24名、無症者6名、全国1,946名	

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成20年 第34週 平成20年8月18日(月)～平成20年8月24日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(33週)
インフル インザ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザ を除く)	3 0.27						3 0.09		52 0.01
小児科 (22)	RSウイルス感 染症		2 0.67					2 0.09	2 0.09	330 0.11
	咽頭結膜熱		5 1.67	1 0.33			2 0.40	8 0.36	4 0.18	1663 0.57
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	6 0.86	14 4.67	6 2.00		9 4.50	8 1.60	43 1.95	21 0.95	1541 0.53
	感染性胃腸炎	43 6.14	19 6.33	8 2.67		6 3.00	53 10.60	129 5.86	113 5.14	6166 2.13
	水痘	9 1.29	1 0.33	5 1.67		1 0.50	2 0.40	18 0.82	9 0.41	1733 0.60
	手足口病	10 1.43	7 2.33		1 0.50	7 3.50	10 2.00	35 1.59	18 0.82	4657 1.61
	伝染性紅斑									180 0.06
	突発性発しん	14 2.00	1 0.33	2 0.67	2 1.00	1 0.50	5 1.00	25 1.14	15 0.68	1668 0.58
	百日咳								2 0.09	80 0.03
	ヘルパンギーナ	9 1.29		14 4.67		2 1.00	2 0.40	27 1.23	27 1.23	4450 1.54
流行性耳下腺 炎	20 2.86		10 3.33			1 0.20	31 1.41	10 0.45	1129 0.39	
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎		*	*	*	*				10 0.02
	流行性角結膜 炎	1 0.50						1 0.33		388 0.60
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									6 0.01
	無菌性髄膜炎		*							21 0.05
	マイコプラズマ肺 炎	1 0.50						1 0.17	2 0.33	163 0.35
	クラミジア肺炎(オウム 病は除く)									6 0.01

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

*欄には定点はありません

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成20年第34週 平成20年8月18日(月)～平成20年8月24日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	
～5ヶ月		～5ヶ月				1				3				～5ヶ月							
～11ヶ月		～11ヶ月			1	15	1	5		8		4		～11ヶ月							
1歳		1歳	1	2	2	21	3	9		13		7	5	1歳							
2歳		2歳	1	3	4	14	4	11		1		7	2	2歳							
3歳		3歳		1	7	9	4	6				5	5	3歳							
4歳		4歳			4	15	6	2				2	14	4歳							
5歳		5歳		1	2	9		1				1	3	5歳							
6歳		6歳		1	1	6							1	6歳							
7歳		7歳			5	3						1		7歳							
8歳		8歳			6	3							1	8歳							
9歳		9歳			5	5								9歳							
10～14歳	1	10～14歳			4	12		1						10～14歳							
15～19歳		15～19歳				4								15～19歳							
20～29歳		20歳以上			2	12								20～29歳						1	
30～39歳														30～39歳		1					
40～49歳	1													40～49歳							
50～59歳														50～59歳							
60～69歳														60～69歳							
70～79歳														70歳以上							
80歳以上	1																				
合計	3	合計	2	8	43	129	18	35		25		27	31	合計		1				1	
前期計		前期計	2	4	21	113	9	18		15	2	27	10	前期計						2	
当期間/前期	***	当期間/前期	1	2	2.05	1.14	2	1.94	***	1.67		1	3.1	当期間/前期	***	***	***	***	0.5	***	
増減数	3	増減数		4	22	16	9	17		10	-2		21	増減数		1				-1	

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき